

まこと 誠の家

街並みに馴染む自然体の家

青い空と白い雲、背景に美しい山並みを望み、
緑の木々を感じながら過ごす幸せ。
四季の訪れが待ち遠しいのは、
そこに自然と等身大の暮らしがあるから。
ここは、家族が「ただいま」と帰るあたたかな場所。
街並みに馴染む自然体の家へ。

次世代へと続く これからの住まいのかたち

住まいを風景に。それは湯本建築設計が理想とする、家のあるべき姿です。長野市の住宅街に立つこの邸も、また然り。新築でありながら、その佇まいは街並みの一部としてすっかり馴染み、家族をあたたく包み込んでいます。暮らすのは祖母と若夫婦、3人の子どもの3世代。広すぎず狭すぎない、6人がいい距離感で心地良く過ごすことができる、謙虚で堅実な住まいとなりました。

「大切なのは、地域との調和です。から」と湯本社長。住まいづくりで肝心なのは、施主側の夢や要望だけにとどまらず、周辺環境を五感で読み解き、人と地域、その両者にとってベストな家を目指すこと。それが地元に根ざした工務店の使命であり、役割であると話します。そして信州の四季に寄り添い、太陽や風を感じる贅沢な暮らし。当たり前のようにいて失わ

れつつある、昔ながらの理にかなった住まいにこそ価値があると説きます。またO邸の魅力は、バランス良く整えられたその見た目にも窺えます。芝庭やカーポートなど、住まいの顔ともいえる外構まできちんと整えられた、パーフェクトな居ずまい。そこにはこれから先、世代が変わっても、丁寧に豊かに暮らすための様々な優しさが込められています。

「家は建ててからが勝負です。だから私たちは真摯に向き合い、おせっかいをするし心配もするんです」。そう話す湯本社長は、これまで300を超える住まいを手がけてきました。その経験とスキルの集大成として誕生したのが、同社の誇る「誠の家」です。Oさん一家の門出に、これほどぴったりの舞台はありません。この先も続くであろう健やかな未来を、「誠の家」が末長く見守ることでしょう。



PLAN

広さが限られた変形タイプの敷地に、すべてをバランス良く揃えたプラン。家を中心に芝庭や板塀、カーポートをあつらえ、来客用の駐車スペースや家庭菜園を確保。10年、20年後のメンテナンスをふまえ、随所に配慮がなされている。



敷地面積：	183.14㎡(55.29坪)
1F面積：	53.00㎡(16.00坪)
2F面積：	53.00㎡(16.00坪)
延床面積：	106.00㎡(32.00坪)

大窓の恩恵に満ちた 眺めのいい暮らし

「誠の家」は、大窓ありきでつくられています。その醍醐味は、信州の景観が最大限に楽しめることにありますが、ご覧のとおり、一步引いた室内からの眺めもまた壮観です。空間全体に広がるのは、精巧で美しい梁や柱など木のしつらえ。大窓との相乗効果で、圧倒的な開放感とスケール感をもたらしています。これほど大きなガラス窓を開け放つことができる技術はそうそうありません。大窓が「誠の家」の真価になりうるのは、そうした理由があるのです。

さらに視線は、リビングからウッドデッキを介し庭へと注がれます。「ポイ



ントは、深い軒があること。そこにもちゃんと意味があるのです」と湯本社長。それは住まいにとつて何が重要か、その要素を取捨選択した結果です。家族の資産でもある大切な家を、できるだけいい状態で子や孫の代まで受け継いで欲しい。そんな優しさのあらわれでもあります。

そして最後に。家というのは庭や塀などの外構はもちろん、地域環境をも含め初めて成立するもの、と湯本社長。だからこそ、細部へのこだわりや配慮が意味を成す。それが「誠の家」の在り方なのです。





a_ 玄関に入って右手にしつらえた手すり。飾り棚を思わせるデザインで、手を添えてすつと段差をのぼれるよう奥に向けて広がっている。 b_ 家族やお客様を迎える玄関アプローチは、屋根が深く雨天でも濡れにくい。軒下にはマツの無垢材から彫刻する縁起のいい招き猫の手も。 c_ 掃除がしやすいシンプルな洗面台。 d_ 職人技が光る階段の手すり。しっかりと握れる形と素材にこだわっている。階段は12段と最少にし、のぼりやすさや安全性に配慮した。 e_ 柔らかな光を取り込む障子。開閉が調整できるのも嬉しい。 f_ ガルバリウム鋼板でつくられた板塀の笠木。雨が降っても水がたまらないよう斜めになっている。

「誠の家」には、ここでは書ききれないほどの配慮がなされています。例えば手すり一つとっても、ただあつらえることが目的ではありません。大切なのは、人の手にすんなり馴染み、握りやすく安全なこと。使い勝手が悪ければ、意味がないのです。そんな目立たないけれど、暮らしてみても初めてわかる「これいいな」という、さりげない優しさ。湯本建築設計が、「私たちがだからできる」と自負する様々な親切が、O邸のあちらこちらに散りばめられています。

さりげない優しさと
細部への気くばり

誠の家ブランドブック
あります



家と庭が寄り添うデザイン
湯本建築設計

長野県長野市吉田五丁目9番16号
Tel 026-219-3351
E-mail: info@yks-house.co.jp
www.yks-house.co.jp

お問い合わせ
資料請求は
QRから

信州の緑で日常に彩りを

住宅街にありながら一歩足を踏み入れると、まるでプライベートガーデンのような装いのO邸。庭を含めての「誠の家」ですが、ベースにあるのは住まう人が誇らしくワクワクするような、ちよつと見栄えのいい景観です。石を積んだり、個性的な木々を植えたりと、プロの目線でプランニング。その狙いは、飽きることなく手を入れながら、この先もずっと庭のある暮らしが楽しめるように。これからは、ご家族でアレンジも自由自在です。四季が織り込まれた美しい環境が、日常に彩りを添えてくれることでしょう。



庭は遠州流をイメージし和風の雅な印象に。常緑樹や紅葉樹、落葉樹など季節感があり、さらに先々の管理まで考え、自分たちでも手入れのしやすいものを選んで植栽。北側には家庭菜園を設け、色々な角度から自然に親しめるよう工夫されている。

